大手町地区第一種市街地再開発事業の目的は

問 ①大手町地区第一種市街地再開発事業の目的は。②清水町、富士市への大型店が出店する中、大手町地区再開発ビルの商業施設の集客の見込みは。

答 ①本事業は、沼津駅南口駅前広場や都市計画道路三枚橋錦町線の拡幅など、買収方式では困難な都市基盤の整備改善を行うとともに、老朽化した建築物から災害に強い共同建築物への建てかえを行うため市施行で実施している。再開発ビルは、多彩で専門性に富んだテナントで構成する新しい集客施設の創設により、人の流れや経済活動が活発になると考えている。また、住宅を配置することで中心市街地における定住人口の増加や消費等の拡大が図られ、ＪＲ沼津駅に近接した二十四時間利用できる大規模な駐車場を配置することにより、多くの人が利用できる施設となると認識している。②再開発ビルの商業施設は、広域的な交通結節点であるＪＲ沼津駅前という立地条件とともに、集客性の高い魅力あるテナント構成や周辺商店街との連携などにより、多くの人に利用されるものと考えている。

▲平成20年３月にオープンする再開発ビル「イーラde」

鉄道高架事業等の都市計画を見直す考えは

問 我が国の人口は減少期に入っているが、二十年後の労働力人口の減少を勘案した経済状況、交通状況を予測し、鉄道高架事業等の都市計画を見直す考えは。

答 人口減少は、場所や地域を選ばず一律に生じるのではなく、都市基盤整備や産業・文化振興などの都市づくりの努力次第で、大きな差が出てくると言われている。このような時代に、何ら政策の展開をせずに都市の衰退を待つことはあってはならないものである。今後の都市づくりにおいて、まちづくり三法の改正に見られるように、国では、中心市街地の役割を重要視している。このような中、本市においては、国・県の支援を受け、沼津駅周辺総合整備事業など中心市街地の活性化を図るための施策を展開しているが、このことは、市民、市議会においても十分な議論が行われた上で、本市の重要事業として進めてきているものであり、鉄道高架事業等の都市計画を見直す考えはない。

▲都市基盤の整備が進むJR沼津駅周辺（平成19年１月撮影）

沼津駅周辺総合整備基金の内容は

問 沼津駅周辺総合整備に要する経費に充てるため設けられた沼津駅周辺総合整備基金について、①本基金を土地取得事業特別会計及び市街地再開発事業特別会計に貸し付ける理由は。②平成十八年度決算額では、本基金の貸付金は約百三十二億円であるが、この貸付金が返済される時期は。

答 ①本基金は、沼津駅周辺総合整備基金条例の規定に基づき、沼津駅周辺総合整備事業の促進用地取得等のため、土地取得事業特別会計及び市街地再開発事業特別会計に無利子で貸し付けを行っている。②本基金の貸付金については、沼津駅周辺総合整備事業の進捗にあわせ、事業完了までに、順次返済されるものと認識している。